東九州新幹線早期実現に向けた総決起大会

東九州新幹線
Higashi Kyushu Shinkansen

【目　的】 東九州新幹線鉄道建設促進期成会において新幹線早期実現に向けた総決起大会を開催することにより、**期成会４県１市の行政や経済団体の関係者が結集**し、新幹線整備実現に向けた議論を加速させ、**広域的な機運醸成**を図る。

【日　時】 令和８年１０月２９日（木）１５：００～１６：３０

【場　所】 ＭＲＴmiccダイヤモンドホール（宮崎県宮崎市）

【主　催】 東九州新幹線鉄道建設促進期成会（会長：河野 宮崎県知事）

【出席者】 **約３００名（大分県関係者約８０名）**
福岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県、北九州市の関係者
（県、市町村、議会、経済団体 等）
各地域選出の国会議員　等



総決起大会の決議

1　整備新幹線の未着工区間の見通しをつけることと並行して、令和８年度から実施される「東九州新幹線に係るケーススタディ」について、フル規格の新幹線を前提とし、法定調査の内容の一部を先行的に実施する調査内容とするとともに、九州全体における新幹線のネットワーク効果が最大化されるよう地域と連携しながら調査を進めること

2　骨太の方針２０２７に「所要の財源を確保し、基本計画路線の建設に関し必要な調査を早期に実施するとともに、２０２０年代に整備計画路線への格上げを図る。」との文言を盛り込むこと

3　着工５条件における投資効果（Ｂ／Ｃ）について、実態に即した社会的割引率の見直しを行うとともに、現在反映されていない誘発需要の創出効果や防災・減災効果等を適正に評価できる手法への見直しを早急に行うこと

4　貸付料の徴収期間の延長や算定方法の適正化などの見直しを進めるとともに、利用者負担のあり方の検討や国際観光旅客税の活用など新たな財源の検討を含めた新幹線整備に係る所要の財源確保及び予算の大幅な拡充を図ること

5　新幹線整備費用について、地方債の充当率や交付税措置率の引き上げなど、地方公共団体の財政負担の軽減を図ること